

THE 市町支援通信

～三重県に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

あすなる学園市町支援課は、途切れのない支援システムの構築を推進しています。

三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援をめざし、あすなる学園は多くの市町と共働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ①発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）・機能の設置
 - ②「CLM（チェック・リスト・in 三重）と個別の指導計画」による保育所・幼稚園での早期発見・支援
- * 「CLM と個別の指導計画」は、子どもの育ちを見極め、適切な支援を行うためのツールです。
- ③みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成支援

三重県子ども・家庭局長からのメッセージ

皆様には、本県の子ども・家庭施策の推進に、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

県では、結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、すべての子どもが豊かに育つ三重をめざして、「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」を策定し、その重点項目のひとつとして「発達支援が必要な子どもへの対応」に取り組んでいます。

また、支援が必要な子どもが、それぞれの地域で健やかに成長できるよう、途切れのない支援の体制づくりを、更に進めていくことが大切だと考え、この取組の重点目標として発達障がい児等に対する支援ツール「CLM と個別の指導計画」の保育園や幼稚園等への導入率を掲げています。平成 27 年度末の導入率は 40.8%であり、平成 31 年度には導入率 75%を目標として、巡回指導や研修会を行うとともに、同ツールの活用に向けた DVD を県内全ての保育所や幼稚園に配布したところです。このツールを現場で活用いただき、子どもが初めての集団生活で困難さを感じることなく過ごせるとともに、二次的な問題行動等の予防にもつなげていきたいと考えています。

さらに、平成 29 年 6 月開設をめざして、「三重県立子ども心身発達医療センター」の建設も順調に進んでいます。新センターでは、地域への支援機能を高め、発達支援の中核機関として県全体の総合力の向上をめざしていきます。

今後も、市町の皆様のご意見を聞きながら、取組を進めていきますので、引き続きよろしく願いいたします。



「みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修」 平成 28 年度研修者を紹介します

平成 28 年度も、6 市町から研修者をお迎えして「みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修」が始まりました。来年 3 月の「アドバイザー」認定をめざして学んだり実践に取り組んだりの日々を送る、研修者の声をご紹介します。(敬称略)



4 月から新しい生活がスタートし、毎日が勉強です。素敵な出会いに感謝しながら、1 年間しっかり勉強し、1 年後にはアドバイザーとして市町に戻れるよう頑張りたいです。

(津市 前川香)



この研修でたくさんの人と出会い、豊かな経験を通して自分を見つめ直し、新たな一歩をふみ出しています。1 年間で学んだことを市町で活かせるよう、研修生 6 名で精一杯がんばります。

(四日市市 磯部奏江)



アドバイザー研修が始まって 1 ヶ月余り。これまで経験したことのない世界で、たくさんの刺激を受けています。1 年後アドバイザーとして、子どもたちのために頑張れるよう、一日一日を大切にすごしていきたいと思います。(伊勢市 藤村いつえ)



あすなる学園での研修がスタートし、毎日たくさんの事を学んでいます。1 年間で、様々な知識と技術を身につけ、目利き腕利きができるアドバイザーになれるよう、頑張りたいです。

(鈴鹿市 中村由美子)



研修が始まり、1 ヶ月が経ちました。この 1 ヶ月だけでも、知らなかった世界に毎日刺激を受けています。一年間の研修で学んだことを地域に活かせるよう勉強していきたいと思います。

(志摩市 岡野富美)



あすなる学園での研修が始まり、日々の学びはとても深く有意義な時間です。この 1 年間、専門性を習得し技術を身に付け今後、地域で活かしていけるように精一杯頑張ります。

(東員町 橋本千里)

「ザ・春アドバイザー研修会」が行われました

平成 28 年 4 月 20 日 (水)、城山れんげの里にて「みえ発達障がい支援システムアドバイザー総会および研修会」が行われました。当日は 28 名のアドバイザーが集まり、市町における「途切れない支援」が効果・効率的に推進できるよう、「CLM と個別の指導計画」の活用や相談・支援に必要な知識・技能を学びました。



内容は一人で解決する演習課題、およびグループでの事例検討でしたが、アドバイザーならではの中身の濃い研修の時間となりました。

アドバイザーの皆様がこの研修を通じて、市町における子ども支援の要としての資質を磨いて頂くことを願っています。

市町ワークショップ

平成28年度 途切れのない発達支援研修会

5月7日(土) 四日市市文化会館、28日(土) 津市芸濃総合文化センター、6月11日(土) 三重県伊勢庁舎、19日(日) 三重県尾鷲庁舎にて『途切れのない発達支援研修会』を開催しました。

午前中は「保育・教育に求められる目利き・腕利き」の講演を、午後からは「CLMと個別の指導計画」の作成についての講演と作成ワークショップを行いました。

講演会では、気になる子の保育・教育を中心に、気になる行動の要因分析や支援の引き継ぎの重要性などをお伝えしました。

ワークショップでは、初級コースと中級・上級コースに分かれ、初級コースでは、「CLMと個別の指導計画」の作成手順・プランの組み立て方の演習を、中級・上級コースでは、グループを編成し、「CLMと個別の指導計画」の立案演習を行い、その後、実際に作成した指導計画でロールプレイをしました。さすがに日頃保育・教育している皆さん…担任役子ども役と、保育・教育実践さながらの場面を演じてくれました。参加者全員でイメージを膨らませたり、共有したりすることができました。

どの会場も溢れんばかりの参加者で熱気と活気にあふれ、中身の濃い学びをしていただけたと思います。会場を提供していただいた市町行政の皆様、ご協力いただいたアドバイザーの皆様、ありがとうございました！！



アンケートにお寄せいただいたご意見・ご感想をいくつか紹介します。

- 幼児の気になる姿から要因を絞り、分析した上で考えていく“根拠のある支援”ということで、自信をもって支援ができると思いました。(幼稚園教諭)
- “どうしてこの行動が見られるのか”を改めて要因をつきとめ、一人ひとりに合った支援ができるよう努力していきたいです。(幼稚園教諭)
- 関わった子の将来も考えながら、些細な事と思わずに丁寧にみていきたいと感じました。(保育士)
- 保育者が適した支援をすれば困り感はなくなる。子どもを育てる前に私自身が成長し、子どもが過ごしやすい環境を用意したいと思いました。(保育士)
- 児童の困り感だけではなく、その要因を探っていくことの大切さを改めて感じました。(小学校教諭)
- 子どもの課題に対して具体的に目標を立て、一つ一つやっていきたいと思いました。(小学校教諭)
- 中学校での学級経営や気になる生徒の支援にも、個別の支援計画を意識した指導方針を考えていくことが可能だと思います。自分なりの短期見通しを持って取り組みたいと思います。(中学校教諭)
- 養護教諭という立場から、担任と相談しながら、園児が動きやすい環境設定をしていきたいと思います。各月の保健指導の時にCLMを使っていきたいと思います。(養護教諭)
- 早期支援の大切さを改めて感じました。そのための指導計画作成・引継ぎは大切だと思いました。(行政)

寄り添い続ける支援をめざして ～御浜町 子ども家庭室より～

今年度より、御浜町健康福祉課に新たに『子ども家庭室』を開設しました。

これまでは、乳幼児期の支援は保健担当で行い、就学後の支援は学校、教育委員会管轄のもと、必要時できるだけだけの支援を行ってきました。“育てにくさ”を感じさせる子どもの増加により子ども支援・家庭支援がより求められている今、あすなる学園の先生方が重視する「途切れのない支援」を御浜町でも実現させようと、子育てに関する窓口を一元化しました。



これからは、「子育て包括支援センター（御浜町版ネウボラ）」をめざして妊娠期から保育園（所）・小学・中学・高校まで途切れのない適切な支援の手を積極的に差しのべていきます。室には室長、事務員の他、保健師、保育士、臨時の臨床心理士（各1名）を置きそれぞれの専門性を生かし各関係機関との連携を図りながら家庭に、学校にそして子どもたちに寄り添い続けることを大切にした組織づくりをめざします。虐待予防・ひとり親家庭等への支援、アウトリーチ型子育て支援の充実・強化に努め、さらに「子育て支援室」の施設拡大を図り、家庭で育児中の子育ての支援も充実させていこうとしています。「困った時には“子ども家庭室”」が合言葉になるよう、また、子どもたちのために日々邁進していきます。

インフォメーション

あすなるシンポジウム（「ザ・夏 途切れのない発達支援研修会」と合併）

「みんなで学ぶ 三重県における地域子育ての歴史と未来」

日時：平成28年8月26日（金曜日）13:00-16:00

場所：三重県総合文化センター内 三重県文化会館中ホール

対象：県民一般 参加費：無料 申し込み：あすなる学園 医療連携室

内容：講演「子どもは育つ～育ちの道には個性がある～」

講師 清水将之 三重県特別顧問（子ども・家庭局）

シンポジウム「子どもたちの未来を語る」

シンポジスト 中西大介（あすなる学園医師）

松岡宏樹（鈴鹿市子ども政策部子ども家庭支援課）

樋口徹也（志摩市健康福祉部こども家庭課）

司会 金井剛（あすなる学園園長）

「CLMと個別の指導計画」を活用した発達支援の実践報告会（詳細は後日お知らせします）

平成28年11月13日（日曜日） 三重県総合文化センター内 フレンテみえ多目的ホール

対象：保育士、教員、関係行政職員等

平成28年（2016年）7月1日

<発行> 三重県立小児(こども)心療センターあすなる学園 広報担当：こどもの発達総合支援室 市町支援課

〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL：059-234-8700 FAX：059-234-9361

MAIL：asunaro@pref.mie.jp URL：http://www.pref.mie.lg.jp/ASUNARO/HP/